

## 文献

### 先行研究

- 陳文德 (1987) 卑南族之祭儀歌舞. 台湾土著祭儀及歌舞民俗活動之研究. 中央研究院民族学研究所. pp. 194-230.
- 陳文德 (1989) ‘年’的跨越：試論南王卑南族大獵的社会文化意義. 中央研究院民族学研究所集刊. 67 : pp. 53-74.
- 陳文德 (1999) 起源. 老人和歷史：以一個卑南族聚落对發祥地的爭議為例. 時間. 歷史与記憶. 中央研究院民族学研究所. pp. 343-379.
- 末成道男 (1968) Affinal Relationships among the Puyuma of Tiwan.  
Proceedings of 8<sup>th</sup> International Conference of Anthropological and  
Ethnological Sciences. 2:134-138. Science Council of Japan: Tokyo.
- 末成道男 (1969) A Preliminary Report on Puyuma Language (Rikavong Dialect).  
Bulletin of the Institute of Ethnology. Academia Sincia. 27:141-164.  
The Institute of Ethnology. Academia Sincia: Raipei.
- 末成道男 (1970) 台湾プユマ族の親族組織の志向性：R村における年越儀礼と  
カロマアン祭祀を中心として. 民族学研究. 35-2. pp. 87-123.
- 末成道男 (1983a) 台湾プユマ族の治療儀礼にみられる志向性. 儀礼と象徴：文  
化人類学的考察. 九州大学出版会：福岡. pp. 383-413.
- 末成道男 (1983b) 台湾プユマ族の位牌祭祀. 聖心女子大学論叢. 61. pp. 106-141.
- 宋龍生 (1964) 台東平原的卑南族調查簡報. 国立台湾大学考古人類学刊. 34.  
pp. 67-82.
- 宋龍生 (1965) 南王村卑南族会所制度. 国立台湾大学考古人類学刊. 25・26.  
p. 112-144.

- 宋龍生 (1995) 南王村卑南族宗教制度. 民族学研究所資料彙報. 10 : pp. 41-118.
- 宋龍生 (1997a) 台湾原住民資料彙編 4 輯. 卑南族的社会与文化. 上冊. 台湾省文献委員会.
- 宋龍生 (1997b) 台湾原住民資料彙編 4 輯. 卑南族的社会与文化. 下冊. 台湾省文献委員会.
- 宋龍生 (1998a) 台湾原住民資料彙編 4 輯. 卑南族神話伝説故事集 : 南王祖先の話. 台湾省文献委員会.
- 宋龍生 (1998b) 台湾原住民史 卑南族史篇. 台湾省文献委員会.
- 蛸島直 (1990) プユマ族ピナシキ村の伝統医療 : ビンロウジはビンロウジ. 愛知学院大学人間文化研究所紀要 人間文化. 5. pp. 217-246.
- 蛸島直 (1995a) プユマ族のドゥマワツ : 祖先への分配儀礼. 愛知学院大学文学部紀要. pp. 149-169.
- 蛸島直 (1995b) プユマ族のカルマハン帰属原理 : 研究の整理と展望. 愛知学院大学人間文化研究所紀要 人間文化. 10. pp. 85-111.
- 蛸島直 (1997) プユマ族の個人名. 愛知学院大学人間文化研究所紀要 人間文化. 12. Pp. 87-111.
- 蛸島直 (1998a) プユマ族のデミラツ儀礼 : カルマハンの帰属原理の理解に向けて. 愛知学院大学文学部紀要. 27. pp. 155-173.
- 蛸島直 (1999) プユマ族カサヴァカン村の首長系カルマアン. 愛知学院大学文学部紀要. 28. Pp. 97-116.
- 蛸島直 (2000a) 裏と表の民族誌 : プユマに見るいくつかの事例から. 台湾原住民研究. 5. pp. 3-23.
- 蛸島直 (2000b) プユマ族カサヴァカン村の有力カルマハン(2). 愛知学院大学文学部紀要. 30. pp. 149-168.

- 蛸島直 (2001a) プユマ族のカルマハンと知識：系譜の認識機構を中心に．台湾  
原住民研究． 6． pp. 179-206.
- 蛸島直 (2001b) プユマ族カサヴァカン村の有力カルマハン(3)．愛知学院大学  
文学部紀要． 31． pp. 101-119.
- 蛸島直 (2003a) プユマ族の巫師の人生史：トゥマララマオ継承原理をめぐる予  
備的考察．台湾原住民研究． 7． pp. 121-147.
- 蛸島直 (2003b) プユマ族における異民族系宗教職能者とその継承．人間文化．  
18． pp. 285-310.
- 蛸島直 (2004) プユマにおけるガラス玉首飾りの祭祀と禁忌．愛知学院大学文  
学部紀要． 34． pp. 93-112.

#### 引用・参考文献

- 青木説三 (2004) 遙かなる台湾：先住民社会に生きたある日本人警察官の記録．  
燃焼社：大阪．
- 伊能嘉矩．栗野傳之丞(1900) 台湾蕃人事情．台湾総督府民政部文書課：台北．
- 伊能嘉矩(1909) 台湾プユマに行はるゝ祭祖の儀式．東京人類学会雑誌．24:279.  
Pp. 324-348.
- 岩城亀彦 (1936) 台湾蕃族の営む農事祭と彼等の教化．盛文社：台北．
- 宇佐美隆憲 (2002) 草相撲のスポーツ人類学．岩田書店：東京．
- 遠藤央 (2002) 政治空間としてのパラオ：島嶼の近代への社会人類学的アプロ  
ーチ．世界思想社：京都． p. 5.
- 王育徳 (1970) 台湾：苦悶するその歴史．弘文堂：東京．
- 岡松参太郎 (1921) 台湾蕃族慣習研究 第1巻．台湾総統府蕃族調査会：台北．

外務省ウェブサイト. <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

笠原政治 (1980) 台湾プユマ族の二つの祭祀. 黒潮の民族・文化・言語. 黒潮の文化の会編. 角川書店.

君島和彦 (1994) 植民地「帝国」への道. 「帝国」日本とアジア. 吉川弘文館: 東京.

グットマン. アレン著. 谷川稔. 石井昌幸他訳 (1997) スポーツと帝国. 昭和堂: 京都. [Guttman, Allen(1994)Games and empires: modern sports and cultural imperialism. Columbia University Press: New York]

栗本英世. 井野瀬久美恵 (1999) 植民地経験: 人類学と歴史学からのアプローチ. 人文書院: 京都.

小泉鉄 (1932) 蕃郷風物記. 建設社: 東京.

駒込武 (1996) 植民地帝国日本の文化統合. 岩波書店: 東京.

近藤正巳 (1996) 総力戦と台湾. 刀水書房: 東京.

酒井亨 (2004) <sup>ハーリーズ</sup> 哈日族: なぜ日本が好きなのか. 光文社: 東京.

佐渡ヶ嶽高一郎 (1941) 相撲道教本. 大日本教化図書: 東京.

石剛 (2003) 植民地支配と日本語. 三元社: 東京.

司馬遼太郎 (1997) 台湾紀行 街道をゆく40. 朝日新聞社.

新カトリック大事典編纂委員会 編 (2002) 新カトリック大事典. 研究社: 東京.

鈴木作太郎 (1932) 台湾の蕃族研究. 台湾史籍刊行会: 台湾.

鈴木質 (1932) 台湾蕃人風俗誌. 理蕃の友社: 台北.

青土社. 現代思想. 1998年6月.

須藤健一編 (1996) フィールドワークを歩く. 嗟峨野書店: 京都.

- 宋秀環（2000）日本統治下の青年団政策と台湾原住民．植民地人類学の展望．  
風響社：東京．
- 寒川恒夫（1991）スポーツ文化複合．体育の科学．41．pp.139-146．
- 寒川恒夫（1998）相撲．民族遊戯大事典．大修館書店：東京．pp.92-103．
- 寒川恒夫（2003）遊びの歴史民族学．明和出版：東京．
- 台東庁（1931）台東庁要覧
- 台東庁．台東庁報．
- 台東庁庶務課（1926）台東庁教育要覧．
- 台北帝国大学土俗人種研究室編．移川子之蔵．宮本延人．馬淵東一著（1935）  
台湾高砂族の系統所属の研究．刀水書院：東京．
- 台湾警察協会．警察時報．
- 台湾総督府警務局（1944）高砂族の教育．台湾総督府警務局：台北．
- 台湾総督府警務局理蕃課（1936-1939）高砂族調査書 全6編．
- 台湾総督府警務局理蕃課．理蕃の友．
- 台湾総督府蕃族調査会（1921a）蕃族慣習調査報告書 第2巻．
- 台湾総督府蕃族調査会（1921b）蕃族調査報告書 第1巻．
- 台湾総督府文教局（年不明．昭和10年前後か）神社及び社総覧．
- 台湾日日新報社．台湾日日新報．
- 大日本聯合青年団編（1931）青年宿：青年団青年宿に関する調査．非売品．
- 蛸島直（1998b）プユマの何にひかれているのか．台湾原住民研究への招待．風  
響社：東京．pp.55-57．

- 蛸島直 (2002) プユマ (卑南族). 台湾原住民研究概覧. 日本順益台湾原住民研究会編. 風響社: 東京.
- 蛸島直 (2005) プユマ. 講座世界の先住民族 01東アジア. 明石書店: 東京. pp. 139-152.
- 田里維章 (1926) 台湾の魚温 (養魚) に就て. 台湾銀行調査課.
- 田澤義舗 (1967) 田澤義舗選集. (財)田澤義舗記念会: 東京.
- 鳥居龍蔵 (1910) 人類学研究・台湾の原住民(一)序論. 鳥居龍蔵全集. 5. 1976. 朝日新聞社: 東京.
- 中生勝美編 (2000) 植民地人類学の展望. 風響社: 東京.
- 成田武司編 (1912) 台湾生蕃種族写真帖. 成田写真製版所: 台北.
- 日本順益台湾原住民研究会 (2002) 台湾原住民研究概覧. 風響社: 東京.
- 日本青年団協議会公式ウェブサイト (<http://www.dan.or.jp/index.htm>).
- 野上豊一郎. 野上弥生子 (1942) 朝鮮・台湾・海南諸港. 拓南社: 東京.
- 橋谷弘 (2004) 帝国日本と植民都市. 吉川弘文館: 東京.
- 橋本和彦 (2001) スポーツにおける語りと土着性. スポーツ人類学研究3. 日本スポーツ人類学会: 所沢. pp. 1-17.
- 姫野翠 (1995) 地方の天主教会. 民族文化にとけ込むキリスト教. アジア読本台湾. 河出書房新社: 東京. pp. 238-244.
- 姫野翠 (2004) 異界へのメッセンジャー. 出帆新社: 東京.
- 福島真人 (1993) 儀礼とその積義. 課題としての民俗芸能研究. ひつじ書房: 埼玉.
- 藤生安太郎 (1938) 武道としての相撲と国策. 栗田書店: 東京.

- 藤生安太郎（1938）相撲道の復活と国策．栗田書店：東京．
- 古川貞雄（2004）増補 村の遊び日．農山漁村文化協会：東京．
- 古野清人（1945）高砂族の祭儀生活．三省堂：東京．
- 保莉実（2004）ラディカル・オーラル・ヒストリー：オーストラリア先住民アボリジニの歴史実践．御茶の水書房：東京．
- 前川啓治（2000）開発の人類学：文化接合から翻訳的適応へ．新曜社．東京．  
pp. 180-181.
- 前川啓治（2002）翻訳的適応．文化人類学最新術後100．弘文堂：東京．
- 松澤員子（1993）日本の台湾支配と原住民の日本語教育．植民地経験．人文書院：京都． pp. 326-345.
- 松田吉郎（2004）台湾原住民と日本語教育：日本統治時代台湾原住民教育史研究．晃洋書房：京都．
- 宮本延人．瀬川孝吉．馬淵東一（1987）台湾の民族と文化．六興出版：東京．
- 森丑之助編著（1915）台湾蕃族図譜．臨時台湾旧慣調査会：台北．
- 森丑之助（1917）台湾蕃族志 第1巻．臨時台湾旧慣調査会：台北．
- 矢内原忠雄（1929）帝国主義下の台湾．岩波書店：東京．
- 柳田国男（1915）台湾蕃族調査報告書．定本 柳田国男集第30巻．筑摩書房：東京． 1970． pp. 363-364.
- 柳田国男（1916）青年団の自覚を望む．定本 柳田国男集第29巻．筑摩書房：東京． 1971． pp. 151-155.
- 山口政治（1999）東台湾開発史：花蓮港とタロコ．中日産経資訊：東京．
- 山路勝彦（2004）台湾の植民地統治：〈無主の野蛮人〉という言説の展開．日本

図書センター：東京.

若林正丈編 (2001a) 矢内原忠雄「帝国主義下の台湾」精読. 岩波書店：東京.

若林正丈 (2001b) 台湾：変容し躊躇するアイデンティティ. 筑摩書房：東京.

早稲田大学スポーツ人類学研究室 (1999) モンゴルの民族スポーツ調査報告.  
スポーツ人類学研究. 創刊号.

渡邊昌史 (2003) スポーツと国家・民族：モンゴル国のナーダムに見るエスニ  
シティ. 「危機管理の社会学を目指して」. 高木書房：東京. pp.95-117

渡邊昌史 (2003) 世界各地の相撲&民族レスリング. 2004「総合&組技格闘技」  
選手名鑑. 日本スポーツ出版社：東京.

渡邊昌史 (2004) 台湾プユマの伝統行事にみる「相撲」. 早稲田大学高等学院  
研究年誌. 48.

渡邊昌史 (2006) 中国・少数民族伝統体育運動会にみるアイデンティティの諸  
相. 体育学研究. 54:4.

高明智 (2001) 卑南族巴拉冠文化对男子的生命意義以知本部落為例. 第三屆原  
住民訪問研究者成果發表會. 中央研究院民族学研究所：台北.

簡扶育 (2003) 祖靈昂首出列：台湾原住民群像. 行政院原住民族委員會：台北.

劉金月 (2001) 台湾原住民祭典完全導覽. 常民文化事業股份有限公司：台北.

王煒昶 (2004) 台湾現住民族祭典的盛會. 南天書局有限公司：台北.

遠流台湾世紀回味編纂輯組編 (2005) 認識台湾 回味1895-2000. 遠流出版公司：  
台北.

鄭德慶 (2003) 台湾老明信片. 串門企業有限公司：台北.



撮影・製作年不明。財団法人広播電視事業發展基金：台北。

Bureau of Aboriginal Affairs. Taihoku. Formosa (1911) Report on the control of the aborigines in Formosa. Tokyo:Japan.

WATANABE. Mmasashi (accept 2005.7.5) . Identity seen in the Acculturation of Sumo done by Native Taiwanese. Chihpen Puyuma. International Journal of Sport and Health Science.